

十勝地区国際理解教育研究会

事務局だより

発行者 十勝地区国際理解教育研究会事務局 発行日 平成17年 月 日
連絡先 事務局長：久永恵子（帯広市立花園小学校 帯広市公園東町2丁目3 TEL0155-24-9123）

海外事情報告会

恒例の海外事情報告会が、9月3日、北海道国際センター帯広で行われました。

今年報告して下さったのは、徳成達廣先生（更別村立更別小学校長）。今春まで2年間勤務されていたトルコ・イスタンブール日本人学校での生活を紹介して下さいました。

徳成先生は、昭和61年からケニア・ナイロビ日本人学校に勤務されていたこともあり、十勝管内からは初めての「再派遣」という貴重なご経験をお持ちです。



徳成先生のお話から

カッパドギアやトロイなど、あげればキリのないほどの遺跡に囲まれたトルコ、イスタンブールはアジアとヨーロッパのとけ合った街です。



イスタンブールあれこれ

○日本食ブームだからでしょうか、イスタンブールでは「ハウスカレー」も「キッコーマン醤油」も手に入ります。

○インフレ傾向が強く物価は比較的高いのですが、政府の施策でパンなどの主食は低価格です。

○雪が10cm降ると、現地の学校は臨時休校。「除雪」の習慣はなく、みんなとけるのを待ちます。

○タクシーに乗ると「オマエハ日本人カ？韓国人カ？中国人カ？」**「日本人だ」と答えると「オレハ日本ガ好きダ！」**と。日本とトルコの歴史的な良い関係が国内に浸透しているよう。日本人学校と交流したがる現地校も多いです。

小中学生合わせて50人ほどの学校で、仲良く、学力の高い子にも低い子にもきめ細やかな指導がされています。中学生にも、日本国内の希望の高校に進学する力が充分ついていました。

日本人学校は民家を改造したもの。運動会やプール授業、学習発表会は外部施設を

借りて行います。修学旅行は万全を期して下見が2回、看護師さんも同行します。

学校は、教材も少なく、夏は暑く冬は寒い環境。その中で、子ども達は「工夫」をし「国内で勉強している子どもに負けないぞ!」という意識も持ちながら、たくましく暮らしています。

在任中に、テロもありました。生活には危険が隣り合わせです。そんな中で、子ども達の笑顔には、本当に救われます。学校が唯一本当に安全に楽しく遊べる場所ですから、教員も力を合わせて努力しました。

子どもたちはみんな素直、みんな努力家。厳しい環境でしたが、子ども達のやる気や向上心を阻害するものが少ないのだらうと思いました。また、親は子どもの弁当を用意し、日本と異なる気候の中で健康を気づかい、TV番組などの娯楽なども少ない中で、家族で助け合って暮らしています。親子のつながりも、日本にいるときより強く感じているようです。

トルコでの生活のようす、その中で暮らす日本人の姿、在外教育施設の教育内容、派遣教員のこころがまえなど、たくさんの情報と示唆をいただきました。

徳成先生、ありがとうございました。



ローマだより

今春からローマ日本人学校に勤務されている金元弘子先生から、お便りが届きました。

さて私は、この夏は、南イタリア（ポンペイ、カプリ、ソレントそしてシチリア島）と北イタリア（ミラノ、ジェノバ、マッジョーレ湖）を気ままに旅行してみました。車の運転は、遠出は何かあったとき（故障とか、事故とか）に対処できないので、列車やバス、飛行機での旅行です。

・イタリアは南と北で雰囲気がちがう。

南（ローマ含む）は、うーん泥臭いと言おうか田舎と言おうか、治安もちょっと心配。北は洗練された都会、高級リゾート地という感じでした。私は、また南にいてみたいと思いました。

・南イタリア シチリア島

何度もいろいろな民族に支配された島。ここはイスラム圏かと思ったり、ギリシャ神殿があったり、いろいろな文化が交じり合った不思議な島。「治安が悪いから危険」と驚かされて行ったけど、そうでもなかった。ただ、シチリアの「物乞い」は迫力ありすぎ。ローマにも、たくさん「物乞い」の人はいるのですが、一応哀れみを請うしぐさをしています。シチリアはローマと違って、体格もよく、刺青ばっちり、大きな犬を連れて物乞いをしていた。迫力があって物乞いには見えなかった。怖かった。さすが、マフィアの島。

・ヨーロッパは何ヶ国語も話せる人が多い？

シチリアでは、アグリジェントというギリシャ風の神殿が残っているところにも現地ツアーでいってきました。バスの中のガイドは、フランス語、英語、イタリア語で説明。他にドイツ語、オランダ語（？）も話せるとか。ヨーロッパはこういう人、多いのかも……。